

# 在宅血液透析（HHD）移行後の食事状況と栄養状態からみる

## 栄養士の役割

長崎腎病院

○山下万紀子 小江桃子 佐藤泰崇 田賀農恵 田中健 永野かおり  
高木伴幸 橋口純一郎 原田孝司 船越哲

### 【背景】

HHD では食事制限が緩和されて貧血や栄養状態が改善されると言われる一方で、頻回透析によるアルブミン（Alb）等の喪失も懸念されている。

### 【目的】

HHD 移行後の患者の栄養状態を調査する。

### 【方法】

当院で HHD 施行中の 8 名に対し、食事状況は質問票を用いた聞き取り調査とした。その後、週あたりの HHD 回数と時間、体重（DW）、貧血（Hb）、食事と関連するパラメータ（Alb・GNRI・nPCR・K・IP）を調査した。

### 【結果】

8 名中 6 名が「食事制限が緩和された」、「体調が良くなった」と回答した。HHD に移行 2 ヶ月後の各データは次の通りである。HHD 時間は  $10.9 \pm 1.7$  から  $16.6 \pm 6.1$ h/週に有意に増加し（ $P < 0.02$ ）、体重、Hb、K、IP は不変であった。しかし、Alb は  $4.0 \pm 0.2$  から  $3.8 \pm 0.2$ mg/dl に有意な低下を認め（ $P < 0.05$ ）、GNRI は有意差はなかったが  $100.3 \pm 4.3$  から  $97.8 \pm 4.6$ （ $P = 0.06$ ）に低下傾向、nPCR は  $0.85 \pm 0.2$  から  $0.71 \pm 0.1$  と有意な低下を認めた（ $P < 0.05$ ）。

### 【考察】

ほとんどの患者が体調の改善を実感しているが、栄養に関するパラメータが低下傾向であったことは、いまだ控えめに食べているか、頻回透析による栄養素の喪失が原因と思われた。HHD 移行後も食事アドバイスを継続し HHD 患者の QOL 向上に寄与したい。